

令和5年度 修了式 校長講話

今日で三学期が終わり、学年の最後の日となりました。

今、代表の人に修了証を渡しましたが、修了証には、「一年間、よく学び、できるようになったことが増えましたね。できるようになるまでには、途中であきらめずに、たくさん努力をして、よくがんばりましたね。4月から一つ上の学年に進級します。おめでとう。」という意味が込められています。

皆さん、おめでとうございます。

皆さんは、この一年間で、どんなことを学び、自分でどんなところが成長したと思いますか？

一年間で自分ができるようになったこと、成長したことをみんなで振り返ってみましょう。

飯塚小学校の学校目標は、幸福な人生を切りひらき、未来を創造する「やさしさ」と「かしこさ」と「たくましさ」を身に付けた飯塚っ子です。皆さんが 幸せな毎日をおくり、未来に向かって進んでいくためには、「やさしさ」と「かしこさ」と「たくましさ」が必要です。

まず、「やさしさ」について、自分の成長を振り返ってみてください。

友達が困っている時、「どうしたの？大丈夫？」と声をかけることができた人…たくさんいますよね。元気のない友達に、「一緒に遊ぼう」と誘ったり、悩みを聞いてくれた人もいます。けんかや いじめをせずに、友達と仲良くすることができたのも、皆さんが学んで身に付けてきた大切な「やさしさ」です。けんかをして、「ごめんね」と自分から謝れるようになった人もいますね。友達が間違っことをしたとき、「それはいけないよ。やめよう。」と言えるのも 本当にその人のことを思う優しさです。

この一年間で、心が成長し、優しい心が育っている人が、沢山いることをうれしく思います。

次は、「かしこさ」について、振り返ります。

皆さんの中には、一年間で漢字をたくさん覚えた人、本がすらすらと上手に読めるようになった人、たくさん本を読んで、本が大好きになった人がいますね。長い文章を書いて作文を書くのが上手になったという人もいます。一年生は、M I Mを頑張って、言葉をたくさん覚ええましたね。

毎朝の百ます計算では、計算が早くなり、時間がどんどん縮まった人もいます。二年生はかけ算九九を 何度も繰り返し練習して覚ええましたね。

三年生は、コンパスや定規の使い方が上手になって、図形の学習が好きになったという人もいます。四年生は、手話や車いす体験をしたり、社会科見学で防災体験をしたりして、実際にやってみることで、今まで気づかなかったことに気付いた人もいますね。五年生は、調理や裁縫をはじめて学習し、食事を自分で作ったり、エプロンなど生活に役に立つものを自分で作ったりすることもできるようになりました。

皆さんが「かしこさ」を身につけ成長したのは、国語や算数などの勉強だけではありません。

交通安全に気をつけて登下校するとか、運動場にごみを散らかさないとか、きまりやルールを守ることができたことも、大きな成長です。掃除を一生懸命したり、係や委員会の仕事を責任をもってやり遂げたりしたことも成長できたところです。命を大切にする行動ができること、人に迷惑をかけないようにすること、みんなの役に立つことを進んでできるようになったことは、皆さんが「かしこく」なった証拠です。

この一年間、皆さんが努力して、「かしこさ」をたくさん身に付けることができました。素晴らしいです。

次に、「たくましさ」について、振り返ってみます。

体育の授業や運動会、持久走、大縄大会では、「できない。もうだめだ。」とあきらめそうになった時でも、工夫して練習を続けて心も体もたくましく成長しました。

家庭学習でも、疲れた時ややる気が出ない時にも、投げ出さず、できることから始めてやり遂げられるようになった人もいます。あきらめない強くてたくましい心が育っています。

苦手なことや、難しいこと、めんどくさいと感じることにも、失敗を怖がらずにチャレンジする皆さんの姿もたくさん見ました。勇気をもって頑張る皆さんのたくましい姿は、見ている人たちに勇気や感動を与えてきました。

こうして、皆さんは、一年間で、「やさしさ」と「かしこさ」と「たくましさ」を身に付けてきました。その成長と頑張りには心から拍手を送ります。

大切なことは、この成長は、人それぞれ違うということです。

一年間でできるようになったことは、人によって違います。できるまでのスピードもそれぞれ違います。それは、当たり前なこと、とても大切なことです。一人一人好きなことも違えば、得意なことや苦手なことも違います。みんな顔が違うように、違いはその人らしさなのです。

苦手なことを悩んだり、自分と人を比べてできないことを嘆くより、自分の好きなことや得意なことを見つけて、他の人と違う自分のよさを伸ばしていったほしいと思います。

2月に、飯塚小学校の大先輩である画家の野見山暁二さんの絵が学校に贈られました。

この野見山さんは、小学校の頃から絵を描くのが好きで、授業中も窓から外の風景を眺め、草木や花、鳥を観察するのが大好きだったそうです。そして、小学校の時に会った先生から、「絵がうまいね。みんなは上手に描こうと形にこだわるけれど野見山君は、ありのままの姿を描いているのがいい。」と褒められたそうです。絵を描くことが好きだった野見山少年は、その一言で、ますます絵を描くことに夢中に会っていったそうです。そして、フランスやいろいろな国で絵の勉強を重ね、有名な画家になりました。

皆さんも野見山さんのように自分らしさを大事にして、自分の好きなこと、得意なことに磨きをかけて、次の学年でも頑張ってもらいたいと思います。

最後になりますが、五年生の皆さん、最上級生として立派な六年生になり、後輩たちの手本となることを期待しています。

明日からの春休みを、健康・安全に気をつけて、楽しく過ごしてください。

令和六年三月二十二日

飯塚市立飯塚小学校 校長 津野 真須美

